

学校での**学び**が変わる！

01 個別学習の充実

「ロイロノート」などのアプリを使うことによって、自分の考えを創ったり、整理したり、まとめたりすることができます。また、「e-ライブラリ」などのアプリを使うことによって、児童一人一人の学習の定着度に応じた課題を提供することができます。

02 協働学習の充実

「ロイロノート」などのアプリを使うことによって、学級の仲間とお互いの考えを発表し合うこともスムーズにできます。また、Googleなどのインターネットサービスを利用して、クラウド上にプレゼンファイルなどを仲間と協働して作ることができます。

03 探究的な学習の推進

自分でインターネットを活用して、関心のあることを調べたり、まとめたりすることができます。また、アプリを活用し、プログラミング学習に取り組むなど、自分で課題を探究する学習に取り組むことができます。

04 デジタル教科書の活用

今年度は文科省の実証事業に参加し、生活科と理科のデジタル教科書が使えるようになっています。音声や動画などのデジタル教材を課徴し、学習効果を高めることが期待できます。(現在、回線状況により、学校では活用できない場面もあります)

05 教員の授業改善

豊富なデジタル教材の活用により、先生達の授業がより分かりやすいものになります。また、授業の個別最適化と協働化を図りやすくなり、新しい授業スタイルにも挑戦し、現代課題に直面している子ども達の能力育成のための授業改善につながります。

家庭での**学び**が変わる！

06 学習用コンテンツの活用

「e-ライブラリ」などのクラウド上のドリル教材を利用するなどして、家庭学習に取り組むことができます。また、クラウド上にある動画を活用することで、学校の勉強の予習や復習にも取り組むことができます。

07 宿題の提示や提出

「ロイロノート」や Google などのインターネットサービスを使って、宿題を受け取ったり、提出したりすることができます。また、オンラインでの返却も可能になり、必要に応じて、双方向のやりとりができるようになります。

08 臨時休校でも学びを止めない

万が一、臨時休校や長期の学級閉鎖などでも、iPad を使ってオンラインで学校とつながることにより、必要に応じてオンライン授業や課題の提出・返却などが可能になります。

学校と家庭の**つながり**が変わる！

09 配布物の電子化

学校からの配布物を電子データで受け取ることが可能になります。現在、学校 Web サイトにて学校だよりなどの配信、閲覧を行っております。

その他にも将来的には、不登校児の学習ツールとしての活用や、面談・保護者会のオンライン化も視野に入れて活用方法を検討しています。